

アクセスマップ



- 呑川ゆったりコース**：国道 246 号～呑川親水公園～呑川緑道～区境 約 2.4km
※比較的平坦なコースです。車いすやベビーカーでもらうらく。
 - 健康遊具コース**
深沢広場～呑川周辺の各公園～深沢一丁目緑地 約 3.6km
※近隣の健康遊具を全部回れるコースです。
 - 駒沢オリンピック公園コース**
深沢広場～駒沢オリンピック公園～深沢一丁目緑地 約 2.1km
※駒沢公園まで一足延ばすコースです。
- 組み合わせていろんなコースをつくってみましょう
例) 健康遊具+駒沢公園コースで 約 5.7km

都立園芸高校

東京府立園芸学校（現東京都立園芸高等学校）は、明治 41 年、現在の地（くさう呂城跡）に創立されました。広い敷地に豊かな自然環境を残した歴史のある学校で、徳川家光の時代から残る一對の五葉松の盆栽は、『三代さん』と呼ばれて現在も同校の園芸科の生徒たちによって大切に管理されています。地域の方々も公開日や学園祭などの機会を利用して、イチヨウ並木、バラ園、大正元年に東京市長がアメリカに送った桜の返礼のハナミズキの原木などの豊かなみどりを楽しんでいます。

地域風景資産の一つ

●生徒が栽培した野菜等の販売：毎週月・水・金 午後 1 時～

●普段は非公開、5 月中旬バラ園公開、11 月上旬園芸展

* 公開日要確認



このマップを折りたたむと、公園と対応して健康遊具の使い方がわかるようになっています。



凡 例

- | | | |
|--------|---------|----------------|
| トイレ | ベンチ | 桜の名所 |
| 多機能トイレ | 横断歩道 | 緑が多い場所 |
| 学校 | バス停 | 公園・緑地・広場 |
| 公共施設 | 歩く時に注意！ | かつて江戸道といわれたところ |

農村風景を今に残す深沢二丁目広場

呑川周辺はかつて農村地帯で、今もわずかにその名残を見ることができます。深沢二丁目広場には、代々この地に住んだ三田家の長屋門・土蔵が残されています。屋敷林には、ダイオウショウの松の木やタイザンボクが残り、かつての旧家の様子をうかがい知ることができます。

- 開園時間：9 時 30 分～16 時 30 分まで
- 休園日：毎週月曜日（月曜が祝日の場合は次の平日）と年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）



呑川のいま・むかし

「水が清らかで呑める」ことからこの名がつきました。呑川は、ほぼ多摩川と並行して流れ、世田谷区の深沢地域から目黒区と大田区を通って東京湾に注いでいます。「昔はウナギやドジョウを捕まえて食べたり、いかでで遊んだり。馬洗場や水車小屋もあった」そうです。今では、桜の名所として、また、みどりの豊かな散歩道として愛されています。



●もっと地域を楽しむために

地域の歴史や自然について紹介したガイドブック（有料）。そこを訪れた記念に、ミニ拓本をとることができます。問い合わせ：玉川総合支所地域振興課 Tel.03-3702-1603



エーダンモールのはなし

ちょっと変わったこの商店街の名前は、戦時中、営団住宅ができたことに由来しています。昭和 20 年 3 月 10 日の大空襲で焼けだされた方々が下町から移転してきたことにはじまるそうです。当時の区割りや長屋方式の建物は殆ど残っていませんが、人情味あふれる賑わいの雰囲気は今でも感じることができます。

●4 月初旬 東深沢桜まつり開催

